

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報 59号

発行者 石倉 昭一

発行所 連盟事務所 天野 賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

編集人 広報委員会 岩井田 正昭

発行数 1600部

埼玉岳連

©1955-2018 SMF



平成30年 新春懇談会・第72回愛媛国体祝勝会

中央に田中名誉会長を挟んで、左側石倉会長、右側成年男子波田選手 他の皆さん

巻頭言

『新春を迎えて』

埼玉県山岳連盟会長 石倉 昭一

皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は埼玉県山岳連盟に多大なるご支援を賜り、ありがとうございます。

昨年は「2017雲取山イベント」、「第2回山の日イベント」、「国体3連覇」がありました。

今年は、2020東京オリンピックも3年を切り、3月の加須で行なう「リード日本選手権」など数多くのスポーツクライミングの大会が行なわれます。

「第4回秩父&奥武蔵トレイルランニング大会」、「第3回山の日イベント」も行方向です。

また東日本地区で行なわれる「平成30年度中高年安全登山指導者講習会」を、埼玉県山岳連盟が主管で9月15日(土)～17日(月・祝)に埼玉県立小川げんきプラザで行なうことが決まりました。

よろしく願います。

さて昨年(平成29年)の埼玉県内の山岳遭難事故件数は、63件(過去2番目に多い)、死者行方不明は11名と、ここ数年遭難事故は高い数字で、何とか事故を減らして行かなければと思っています。

山岳遭難防止の為に安全登山の普及、そして自然保護活動の推進も私達にとって重要な務めであり、引き続きこの活動もしっかりと進めて行きます。

本年も色々ありますが皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

平成30年1月吉日

岳連報 59号 目次

- 1 p: 巻頭言『新年を迎えて』 石倉 昭一
 2 p: 新春懇談会・国体祝勝会
 《各委員会活動報告1～6》
 3 p: 1-海外登山委員会 [創立20周年記念]
 4 p: 2-指導委員会、 3-自然保護委員会
 5 p: 4-個人会員委員会、5-遭難対策委員会
 6 p: 6-競技委員会、30年1月理事会-1/2
 7 p: 同上-2/2
 8 p: 投稿 蓮田市民体験教室報告、訃報
 9 p: 参与会報告・編集後書 10 p: 広告

平成30年新春懇談会

“愛媛国体3連覇”祝勝会

2017年1月22日 pm4:30～ 大宮スクエア

新春の懇談会・愛媛国体3連覇祝勝会を大宮スクエアで開催。合わせて全国高等学校選抜クライミング選手権大会2連覇の本間大晴選手の活躍が華を添えました。

石倉県岳連会長の新年挨拶の後、来賓ご挨拶に綱川学習部長様、三戸専務理事様から暖かい励ましの言葉を賜り、選手監督は想いを新たに、来年4連覇を目指します。天野理事長の国体選手、監督の紹介のあと、選手の皆様に花束贈呈が行われました。

加須SCC・古峰参与の乾杯のご発声にて開宴。暫くご歓談の後、川越山の会五十雀・新井元会長による中締めがあり、祝宴は滞りなく終了しました。



左から門間監督、坂井選手、波田選手、
本間選手、中村選手、佐藤監督

懇談会出席者ご芳名(敬称略)

《ご招待者》

加須市長 代理 生涯学習部長	綱川 敬蔵
加須市スポーツ振興課 課長	石川 達男
(公財)県体協 副会長 専務理事	三戸 一嘉
田中産業(株) 代表取締役社長	田中 文男
(株)ICIスポーツ 元大宮店長	木村 茂男
(株)ICIスポーツ 川越店長	小西 雅典
(株)ベルコンピ ューターシステム代表取締役社長	高尾 周太郎

《同・愛媛国体選手・監督》

国体総監督	天野 賢一	埼玉県岳連
国体成年男子監督	佐藤 豊	埼玉県岳連
国体成年女子監督	門間 希美	埼玉県庁
国体成年男子選手	波田 悠貴	日体大
国体成年女子選手	坂井 絢音	埼玉県岳連
国体少年男子選手	本間 大晴	県立久喜工業高校
国体少年男子選手	中村 颯人	市立川越高校

《埼玉県山岳連盟》

名誉会長	田中 文男	浦和山岳会
顧問	森下 健七郎	MAS
参与	三ツ木 達男	元蔵ハイキングクラブ
参与	恵 秀彦	グループ・ト・アミ
参与	古峰 孝	加須 SCC
監事	岩武 成秋	UD・A・C
理事	山口 新二	UD・A・C
理事・指導委員長	野村 善弥	あゆむ山の会
理事・自然保護委員長	堀江 伸子	桜草山の会
理事・理事長	天野 賢一	遠峰山岳会
理事・事務局	塩谷 壽子	大宮山岳会
理事・会長	石倉 昭一	大宮アルパ インクラブ
	浅香 聖成	大宮アルパ インクラブ
	大園 信代	大宮アルパ インクラブ
	加藤 美佐子	大宮アルパ インクラブ
理事・副会長	相沢 重夫	川口市登山同好会
	柴崎 英保	川口市登山同好会
	森山 つや子	川口市登山同好会
	坂尾 優美	川口市登山同好会
理事・副会長	加藤 富之	深谷山岳会
	八ツ田 政男	壁稜山岳会
理事	計良 寿彦	東部登高会
理事・副理事長	宇津木 秀二	高体連
理事	小茂田 利孝	高体連
	新井 邦男	川越山の会 五十雀
	深澤 賢一	川越山の会 五十雀
理事	秋元 淑子	彩・岳悠会
理事・副理事長	瀬藤 武	グループ・ト・アミ
委嘱理事・広報委員長	岩井田 正昭	川越山の会 五十雀
委嘱理事・個人会員委員長	笠原 数浩	彩・岳悠会
委嘱理事・競技委員長	横内 鉄郎	川越山岳会
委嘱理事・海外登山委員長	風間 進	グループ・ト・アミ

「平成29年度」参与会

2017年1月22日 pm1:30～ 大宮中部公民館

加藤副会長の司会により開会、石倉会長の挨拶、29年度の趣旨説明が行われました。参加者全員の自己紹介の後、事務局から岳連の現状報告(事業と財政等)、課題(役員改選、各種の課題)について説明が行われ質疑応答のあと閉会しました。9p 参照



祝賀会参加者 記念写真 中央に風間委員長、右 石倉会長、左 田中名誉会長 他の皆さん

1 [海外登山委員会]

12月2日 さいたま市民会館うらわ

海外登山委員会 創立20周年記念祝賀会

第一部[記念報告会] 司会・天野理事長

冒頭、風間委員長より記念報告会・記念祝賀会開催にあたり、多くの関係者からご支援、ご協力により祝賀会を開催出来ましたとの御礼挨拶があり、第一期から第二期に至る経緯を簡潔に紹介、第三期については次世代の若い方々が“より高く、より困難”な挑戦に海外の山々に向かってほしいと結びました。

参加者に配布された10年間の海外登山記録DVD、及び大谷和男氏(深谷山岳会)から寄贈された海外登山報告書について書籍の紹介もありました。

記念報告Ⅰ：大山委員から『ネパール・ヒマラヤの10年間』をテーマにセブンサミッターを制覇した実体験、実践を通し、『特別な人しか出来ないことなのではなくて、誰でもチャレンジはできる』を伝えてたいとの講演がありました。

記念報告Ⅱ：山際委員からは『インド・ヒマラヤの10年間』というタイトルで、この10年間に行ったネパールとインドの遠征についてPPTを使用し「スダルシャンパルバット登頂」等を改めて紹介。

第二部[記念祝賀会] 司会・鳥理事

加藤副会長から開会挨拶の後、茨城岳連・椎名海外登山委員長、栃木岳連・石賀海外登山委員長のご祝辞を賜りました。引き続き乾杯を県岳連・森下顧問の発声で進められました。歓談の後、天野理事長、鳥理事から参加者全員の紹介、一部の方からメッセージを戴きました。

中締めを山口理事より執り行い、閉会挨拶を元海外登山委員長の塩谷理事から戴き式典は予定通り、



開会挨拶を風間海外登山委員長から



ご祝辞 茨城岳連：椎名海外登山委員長

~~~~~

#### 記念式典 参加者ご芳名・敬称略順不同

##### [JMSCA]

|        |      |             |
|--------|------|-------------|
| 椎名 正明： | 茨城岳連 | 海外登山委員長     |
| 石賀 雅浩： | 栃木岳連 | 海外登山委員長     |
| 荒木 浩二： | 茨城岳連 | 顧問          |
| 中島 淳：  | 茨城岳連 | 理事 ACC-J 茨城 |
| 山田 明：  | 茨城岳連 | JAC 茨城支部    |
| [埼玉岳連] |      |             |

田中 文男:名誉会長、森下 健七郎:顧問、石倉 昭一:会長、相澤 重夫、加藤 富之:各副会長、天野 賢一:理事長、瀬藤 武:副理事長、風間 進:(海外)、内海 信:(強化)、岩井田 正昭:(広報)、笠原 数浩:(個人)、深沢 賢一:評議員、烏 辰克、小茂田 利孝、塩谷 壽子、山口 新二、山口 定男、秋元 淑子、早川 啓:各理事、山崎 郁夫、矢作 悦子、榎本 初江

#### [元海外登山委員]

新井 宗一(元たらっぺ山の会)、内海 正人(浦和溪稜山岳会)、大谷 和男(深谷山岳会)、坂田 文男(元たらっぺ山の会)、鈴木 幸子(元遠峰山岳会)、※藤井 大輔(元遠峰山岳会)

#### [海外登山委員] (一部重複)

天野 賢一:(遠峰山岳会)、今雪 雅夫(あゆむ山の会)、大山 光一(山学同人・比企)、岩井田 正昭:(川越山の会五十雀)、内野 安登(エー山の会)、加藤 富之:(深谷山岳会)、風間 進:(グループ・ド・アミ)、烏 辰克:(川口市登山同好会)、小茂田 利孝:(遠峰山岳会)、塩谷 壽子:(大宮山岳会)、鈴木 直樹(浦和溪稜山岳会)、寺井 繁美(大宮山岳会)、山際 登志夫(グループ・ド・アミ)

※ご寄贈・ご酒などお祝いを戴きました。

深谷山岳会:大谷元海外委員、熊谷山岳会:長谷川理事、大宮山岳会 塩谷理事

~~~~~

2 [指導委員会]

10/21 東吾野上平戸自治会館 県岳連 指導員総会・



委員総会 開会挨拶を石倉会長より

議長選出:秋庭委員、書記選出:折原委員
対象者:101名/参加者29名/委任52名/合計81名

(過半数52名)・総会成立 秋庭議長 宣言

第1号議案 平成28年度事業報告 質疑なし

第2号議案 平成29年度事業計画 質疑なし

第3号議案 平成28年度会計報告、平成29年度予算案、指導員の資格継続研修について

質疑応答

Q:指導員名簿上失効者に対し救済制度はないのか
A:期限内に講習を受けていること、更新料の納付があることで更新される。名簿は9月、3月にのみ更新されるため、閲覧時とのズレが生じている。

Q:個人会員は指導員資格を取れるのか?、新規は集団での指導を行っているか。

A:その実績があるかどうかによる。

Q:講習実績はマイページで見れるのか?

A:閲覧可能ただし、記録データ更新は9月、3月のみ。

Q:2017年1月のSC主任検定員養成講習はSCの義務研修になるのか?

Q:岳連で個人会員の指導をしているが、指導委員会から人をだせないか?

A:指導委員会・遭対委員会で実質4人程度で運営しているので人手、人材不足だができるだけ協力致します、高体連の先生方に指導員資格を取るよう勧めて頂きたいので検討してもらいたい。指導員養成講習会に参加いただければ取得可能です

Q:指導員資格の使う機会を設けていただきたい。

A:課題として皆さんで検討願います。

10/22 県岳連 登攀講習会・研修会・東吾野C道場

今回は参加者11人と講師4人と参加者が少なかったが個人会員の方が4人参加いただいたこと、日本山岳協会の上級指導員養成講習会受講者の検定対策の為、練習していただきました。あいにくの雨の為、飯能の大野クライミング道場を利用して実施致しましたが十分岩場でできることも効率的に講習できたかと思えます。今後は初心者の方々にも初歩のロープの結び方から自力でのセルフスキュー、縦走路での悪場の通過、緊急避難も含めた講習も行っていきたいと思えます。

~~~~~

## 3 [自然保護委員会]

### 11/3 さいたま市下落合コミュニティセンター 自然保護指導員研修会・公開講演会

1. 公開講演「秩父山地の成り立ちと生き立ち」  
講師:本間 岳史氏(元埼玉県自然の博物館長、埼玉県文化財保護審議会委員)

「秩父山地の成り立ちと生き立ち」をPPTを使用しながら、秩父の地形形成や地質分布など分かり易く説明し、最後に秩父地域の希少植物を地質(土壌)の関係を説明された。 質疑応答:特になし。

#### 2. 自然保護指導員制度について

講師:堀江 伸子(埼玉県山岳連盟・自然保護委員長)  
自然保護指導員テキストに基づき、活動環境。状況、関連法令等を説明後、実際に現場でのルールやマナー及び一般者への対応など具体的な例を踏まえ説明を行った。 質疑応答:特になし。



### 指導員制度についての説明 右側 堀江委員長

#### 3. 携帯トイレについて

説明者：千葉 弓子（埼玉県山岳連盟・自然保護委員）

今年度、日山協が作成した「山のトイレパンフレット」をもとに増加する登山者のトイレ問題を説明し、配布した携帯トイレなどの携帯と利用促進をお願いした。

#### 4. 山の野生鳥獣目撃レポートについて

説明者：八木 滋（埼玉県山岳連盟・自然保護委員）

日山協を含む7団体で構成される山岳団体自然環境連絡会が作成したパンフをもとに、平成20年から行われている目撃レポートの成果と目撃報告のやり方を説明し、目撃レポートへの協力をお願いした。

参加者：43名 報告者：八木 滋

~~~~~

4 [個人会員委員会]

11/26 東吾野『阿寺の岩場』

投稿初級実技登攀講習会に参加して



瀬藤講師による実技講習

埼玉岳連個人会員として、登攀講習会に参加した。前もって22日に机上講習会を実施した後、26日に日和田山近くの、『阿寺の岩場』にて実地訓練。トップロープによる登攀の実施、クライマーへのビレー確保、および懸垂下降と濃い内容で楽しくも充実した一日を過ごすことができた。

瀬藤講師の指導方法は体系建てられており、極めて理論的かつ明瞭であった。また受講者にやらせて、

あえて失敗させることでその問題点を皆で共有し、学びにつなげるところが印象的だった。従来の講習は指導者から手取り足とり指導を受けることで受講者は受け身になって分かったような気になってしまい、いざ本番に一人で行うようになって「あれ、どうだったっけ？」となってしまうことが多分にある。

今回懸垂下降におけるシュリングによるフリクションヒッチのバックアップがいかに重要かに多くの時間を割いたが、受講者が実際にやってみると様々な問題点が出てきてもうまいかない。そこを瀬藤講師は安全を確保した上で受講者にあえて失敗を体験させることで正しいやり方を体にしみこませるように指導をなさっていた。懸垂下降は事故が多く、本番で失敗が許されない事項だけに今回の訓練は実にありがたかった。

復習を行うことでより技能を確実に自分のものとし、今後も安全登山を第一に心がけてゆきたい。

個人会員：亀田 剛史

参加者

受講者：寺田泰友、竹中聖一、横田富男、大淵紀子、池ヶ谷潔、亀田剛史、山本 周各会員

講師：瀬藤遭対委員長、

指導員：笠原個人会員委員長、

アシスタント：岩井田委員、秋元委員

合計 11 名

~~~~~

## 5 [遭難対策委員会]

12/9-10 埼玉県県民活動総合センター

冬山登山安全講習会



前山岳救助副隊長として最後となる講演

「冬山シーズンを前に埼玉県山岳連盟加盟団体及び関係諸団体の救急講習会及び遭難防止講習、並びに講演会を行い遭難防止を図る」という趣旨で年末の恒例となった講習・講演会が開催された。

初日（9日）の救急医療講習「山岳における救急医療」を恵 秀彦講師による懇切丁寧な指導・解説による救急法などを学ぶ。

2日目（10日）前半は飯田講師による「秩父管内

における山岳事故事案」を非常に判り易く説明戴き、遭難原因を鋭く指摘、その対策などもご教示戴いた。

午後からは班分けを行い、瀬藤委員長他スタッフによる指導の下、緊急搬送技術等を主体に行われた。



前列講師陣を囲んで参加者全員

~~~~~

6 [競技委員会]

12/23-24 加須市民体育館
第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

[男子リード]

1位: ※本間 大晴 埼玉県 久喜工業
2位: 今泉 結太 茨城県 翔洋学園
3位: 中上 太斗 福岡県 沖学園

[女子リード]

1位: 森脇 ほの佳 大阪府 昇陽
2位: 倉 菜々子 愛知県 安城学園
3位: 高田 こころ 鳥取県 鳥取中央育英

[学校別男子リード]

1位: 愛媛県 東温 渡部 慎一・高村 佳吾
2位: 鳥取県 鳥取中央育英 河上 紘輝・中田 大地
3位: 佐賀県 佐賀星生 中武 凌雅・平井 寛太

[学校別女子リード]

1位: 大阪府 昇陽 森脇 ほの佳・井内 瑠南
2位: 鳥取県 鳥取中央育英 高田こころ・古川日南子
3位: 千葉県 幕張総合 西田 朱李・垣内 瑞希

※当大会は2連覇 JMSCA より転載

~~~~~

## 平成30年1月理事会(第6回) 報告

1月10日午後7時30分~9時30分 北本市

0 出席 石倉会長、相澤、村岡各副会長、天野理事長、瀬藤、宇津木各副理事長、横内(競技)、内海(強化)、増田(自然副)、風間(海外)、岩井田(広報)、笠原(個人)各委員長、山口(UD)、計良(東部)、詫摩(エコー)、小高(アルム)、小久保(壁稜)、長谷川(熊谷)、舞原(山旅)、小茂田(高体連)、道浦(加須)、土屋(ヒナ)、富士田(やまある

き)、岩田(岳稜)、浅井理事(TM)、折原(溪稜)、伊藤(防医大)、大山(比企)、高橋(川越山の会)、早川(川越山岳会)、沼田(草加)各理事、加藤事務局長 計32名

1 開 会(相澤副会長)

2 会長挨拶(石倉会長)

3 報 告

- ①11/17 72 国体選手団解団式・表彰式について
- ②11/18-19 FUN・TRAIL100&50km 事故中止について
- ③11/26 第30回県民総合体育大会コバトクライミングカップについて
- ④12/2 海外登山委員会創立20周年記念祝賀会について
- ⑤12/9-10 冬山遭難防止研修・講習会について
- ⑥12/10-11 高等学校等安全登山指導者研修会について
- ⑦12/23-24 第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会について 加須
- ⑧12/26 元群馬県山岳連盟会長・星野光氏 葬儀について 沼田

4 協 議

- (1)「日山協表彰」「埼玉県体育賞」の推薦について
- ①日山協表彰・森下顧問推薦
- ②平成29年度「埼玉県体育賞」受賞候補者の推薦優秀選手賞(是永敬一郎、波田悠貴、本間大晴、中村颯人、曾我綾乃)他
- (2)1/21・h30 年新春懇談会&h29 年度参与会について
- (3)h30 年度中高年安全登山指導者講習会について
- ①期日:9/15(土)-17(月)②会場:小川げんきプラザ③テーマ「ナビゲーション」と「気象」④1/14 平成30年度中高年安全登山指導者講習会連絡会議 市ヶ谷
- (4)2/03-04 関東地区山岳連盟総会 について
- (5)2019 年 クライミングについて
- (6)日本山岳会埼玉支部主催「安全登山講演会」名義後援の申請について
- (7)その他
- ①「平成29年度田中名誉会長賞」の推薦について
- ②3/3-4 リード日本選手権大会(加須)について
- ③コバトクライミングカップ(ロープ部門)会計報告について
- ④2018 カレンダーの売り上げ状況について
- ⑤平成30年度役員改選について
- ⑥規約改正について

5 各部からの報告等

①指導委員会

- 10/28-29 日山協・登攀技術研修会について  
アルパ インクライミング B級主任検定員更新:計良寿彦・折原(浦和溪稜山岳会)、田口(無名山塾)
- 12/02 都岳連主催・スポーツクライミング研修会(主任検



定員更新:土屋)

- 1/14 中高龄安全登山指導者講習会打合せ 東京
- 2/10-11 積雪期登山講習会・指導員研修会 那須

## ②競技委員会

- 11/26 第30回県民総合体育大会コバトクライミングカップ(ロープ部門)2017 加須
- 12/17 平成29年度選手・スタッフ合同ミーティング 明治大学駿河台アカデミー
- 12/23-24 第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会 加須
- 1/20-21 平成29年度日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会(関東ブロック) 茨城
- 2/03-04 第13回ボルダリングジャパンカップ 駒沢
- 3/03-04 リート日本選手権(主管:埼玉岳連) 加須
- 3/23(金)-25(日) リート・ユース日本選手権印西大会

## ③選手強化委員会

- 11/17 愛媛国体 解団式・表彰式さいたま会館
- 11/26 第30回県民総合体育大会コバトクライミングカップ(ロープ部門)2017 加須
- 12/09-10 ボルダリングジャパンカップ 2018 一般参加選手選考会 名古屋プレイマウンテン(ジム)
- 12/23-24 第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会加須
- 2/03-04 第13回ボルダリングジャパンカップ 2018
- 3/03-04 リート日本選手権 加須
- 3/23-25 リート・ユース日本選手権印西大会 印西

## ④遭難対策委員会

- 12/9-10 冬山遭難防止研修・講習会伊奈・県活
- 1/26(金)-28(日)日山協・平成29年度山岳レスキュー講習会 群馬・土合
- 2/27・火・19~21時 山岳文化学会主催「那須岳雪崩遭難事故」の講演会(講師:野村仁)

## ⑤自然保護委員会

- 11/3 埼玉県岳連自然保護指導員研修会
- 11/22 埼玉県自然公園指導員研修会
- 1/21 日山協自然保護指導員研修会東京・刈谷
- 3/11 第2回山岳自然セミナー(山岳団体自然環境連絡会主催)東京・刈谷
- 3月下旬 カタリ自生地調査(2回目) 寄居
- 4/7 県岳連自然保護指導員総会 北浦和
- 「埼玉の山のトレ事情」調査について
- 5月~6月の「クリーン登山」について

## ⑥海外登山委員会

- 11/16 日山協 第4回海外登山懇談会 東京・刈谷
- 12/2 海外登山委員会創立20周年記念祝賀会

- 12/17 日本山岳会栃木支部主催 第9回ヒマラヤの集い コンセレ(宇都宮市駒生町)

- 1/20 栃木岳連海外委員会主催講演会
- 1/25 都岳連海外委員会主催講演会について

## ⑦ジュニア委員会

- 11/10-12 第61回関東高校登山大会(千葉県)
- 2/10-12 新人大会(雪洞)について 県体育課の許可が出ず中止。

## ⑧広報委員会

- 1/31 発行予定 10p 広報誌 第59号
- 2/25 第8回日本山岳遺産サミット (掲載)

## ⑨企画委員会

- 11/18~19 第3回 FunTrails100K Round 秩父&奥武(FTR100)/FunTrails50KTwolakes&Green line(FT50)
- 12/27 FunTrails より、協力金について
- 2/8 県環境部みどり自然課主催「埼玉県の自然公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いに関する意見交換会」飯能市役所別館
- 各県や各競技団体の法人化について

## ⑩個人会員委員会

- 11/22 第4回講習例会桜木公民館
- 11/26 第3回実技講習山行(阿寺の岩場)
- 12/9-10 冬山遭難防止研修・講習会 伊奈・県活
- 1/24 第5回講習例会 桜木公民館
- 3/18 第4回実技講習山行
- 3/28 個人会員委員会総会桜木公民館

## ⑪事務局

- 11/19 甲武信岳 納拝式
- 11/26 国立登山研修所創立50周年記念式典・祝賀会富山市
- 1/12 県体協・平成29年度競技団体長・支援企業等シンポジウム 浦和ロイヤルパインズホテル
- 1/13 日山協 新春懇談会 森下顧問表彰
- 1/20 埼玉県高体連創立70周年記念式典
- 2/11 平成29年度埼玉県スポーツリーダーバンク登録者研修会スポーツ総合センター講堂
- 2/12 神奈川岳連「岡本安夫・杉本憲昭氏 褒章受章祝賀会」
- 2/18 日山協・全国理事長会議 第56回全日本登山大会報告CD

## 6. 閉会挨拶(村岡副会長)

※訃報 12月19日: 元群馬県山岳連盟会長の星野光氏がご逝去されました。埼玉岳連から石倉会長、加藤副会長、瀬藤副理事長が弔問に伺いました。

## 投稿 H29年度蓮田市中央公民館子供講座 スポーツクライミング体験教室報告

記 日：平成29年7月15日(土) 午後1時～3時  
場 所：加須市民体育館クライミングウォール  
参加者：小学4年(男子11名/女子7名)  
小学5年(男子2名/女子1名)  
小学6年(男子5名/女子4名) 計30名  
保護者 16名 (見学)  
役 員：蓮田側5名、加須側3名+ビレイヤー10名  
費 用：1人1500円

平成28年、蓮田市内の子供たちに、オリンピック開催種目にもなったクライミングを、という話が持ち上がって当会に打診があった。

最初に持ち上がった要素が、○指導者がいない、○市内に該当する施設が無い、○ビレイヤーの経費、保険、○装備、これらを負担してまで参加する児童がいるか、で当初は無理だと回答した。

一方で埼玉岳連のからみで国体で市を揚げてクライミングの街として活動している加須市民体育館に問い合わせしてみたが前例が無い等の理由で半年が過ぎた。平成29年県岳連新春懇談会で加須市体協会長・古峰氏(元県岳連副会長)に伺ったところ協力しようとの返事をいただき、古峰会長のご尽力で、表では市と市の役所どうしの調整、裏では運営を一手に引き受けている加須市岳連の方々、古峰市体協会長、野本市岳連会長、井上理事長、矢萩氏他の方々と会合を重ね、ビレイヤーの経費は一切戴きませんと念押しされ、実現の運びとなった。

これにより蓮田市の小学校4,5,6年生徒に講座開催の通知をし、また石倉県岳連会長に報告を上げ了承を得た。

当日は蓮田市の市バスで加須市民体育館に着いた。壁面を見上げながら井上氏よりレクチャーを受け、6面に分かれボルダリング実技を10名のビレイヤーの指導の下、約2時間体験することが出来た。

終りはトップロープによる模範演技まで披露してもらい、子供たちは2名を除く初めてのクライミングに、目を輝かせて見入っていた。また何名かの保護者も指導を受けるというおまけまでついた。

続けたい、という要望もあり、成功裡に終了した。

地域の子供たちのクライミングに行政の隔たりを越えて取り組んでいる加須市岳連にオンブにダッコの体験教室であったが、事故もなく無事開催出来ました、熱くお礼を申し上げたい。

なお蓮田公民館連絡協議会会長杉山氏、蓮田市中央公民館事務局長橋岡氏が折衝、事務手続きに関りご支援戴きました。

蓮田山岳会 熊谷 潔

## 訃 報

★板橋 秀吉氏(74歳) : 10月11日 逝去  
蓮田山岳会・元理事(元あゆむ山の会・創立会員)  
★森林 真理さん(45歳) : 10月28日 逝去  
元県代表山岳競技選手(関東ブロック大会2度出場)

此処に謹んで哀悼の意を表しご冥福お祈りします  
埼玉県山岳連盟



故 森林 真理さん追悼  
埼玉岳連・顧問:森下 健七郎

森林真理さん(ふじみ野市役所)が、去る10月28日に逝去した。行年45歳だった。真理さんは、故森林憲史先生(59歳で今年5月29日没)の妻で埼玉岳連の成年女子選手として選手不足で困っていたときに国体予選に2度も参加してくれた貴重な人物である。ご主人の勧めで始めたスポーツクライミングをお二人で(後年は娘の瑞季さんも一緒に)楽しそうに攀じ登っていた姿が懐かしく脳裏に焼き付いています。実は、真理さんは暫く前から癌を患いながら必死に闘病生活に耐え気丈闘っていました。我々埼玉高体連及び埼玉岳連有志でご主人の偲ぶ会を行う関係で6月実家に伺った時には、深い悲しみの中にも、気丈に振舞っていた姿が脳裏に焼き付いています。その後8月末には、病状悪化の為自宅療養から埼玉医大に再入院した事を伺いました。

娘の瑞季さんからは、入院後の病状等を時折伺っていましたが、治療の甲斐も無く癌が肺や脳にも転移し亡くなってしまいました。無念だったと思います。この短い期間の中で「ご父母二人ともに亡くす」と言う不幸に見舞われた娘の瑞季さんの心中を察すると、心が締め付けられる思いがします。

故人の安らかな眠りを祈ると共に天国で娘の瑞季さんをお二人で見守って下さい。又、親交の有ったクライミング関係者がそれぞれの立場で何等かの形で手助けが出来れば・・・と切に思います。 合掌

~~~~~

投稿 9/24 湯檜曾川東黒沢 山行「雑感」

前日早出して白毛門ヒストンを行い夜、土合橋駐車場の笠原さんのテントサイトの懇親会に参加、石焼を囲んで海外山行など経験談を聞いて夜遅く就寝、早朝6時に集合、3班構成、10名が出発、しばらく沢の右側の踏み跡をたどり入溪、ナメが続くハナゲの滝を過ぎ二股に着く、昨年は左の白毛門沢に行ったが水量が多く渡るのに苦労したが今年は水量が少なく容易に右岸に渡れる。同じ沢でも水量の違いを感じ採れた。東黒沢に入り朝の陽光が差し込む滝が幻想的だ、危なそうな滝では補助ロープを出して

もらいブルージックを使い安全に上る。私は準備中にATCを落下してしまい、必死に取り返した失態を演じた。950m地点で折り返し、2時ごろ駐車場に帰り解散となった。 個人会員：大河原 裕雄
 ~~~~~

## 第8回 日本山岳遺産サミット ご案内

日時：2018年2月25日(日) 13:30~16:00

会場：インプレスグループ セミナールーム

千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビル

第1部：2017年度活動報告 2017年度認定地・団体発表。岩手山(岩手県)、二ツ森(秋田県)、霧ヶ峰(長野県)、入笠山(長野県)、三ツ峠(山梨県)、伯耆大山(鳥取県)

※認定団体名は省略しています・県岳連広報

第2部：特別講演「日本の山とシカ問題」

麻布大学いのちの博物館上席学芸員、高槻成紀先生

参加費：500円

定員：80名

申込方法：「日本山岳遺産サミット」HPから。

《<http://sangakuisan.yamakei.co.jp/>》

申込締切：2018年2月16日(金)

※定員に達した場合、締め切り前でも受付を終了させていただきます。 主催 日本山岳遺産基金

※2pより続く

【参与会・出席者】 敬称略

顧問：森下 健七郎、参与：大野 好司、三ツ木 達男、恵 秀彦、古峰 孝、佐藤 求

現役員：石倉会長、相澤副会長、天野理事長、瀬藤、宇津木各副理事長、野村(指導)、岩井田(広報)、笠原(個人)各委員長、塩谷事務局、加藤事務局長。  
 ~~~~~

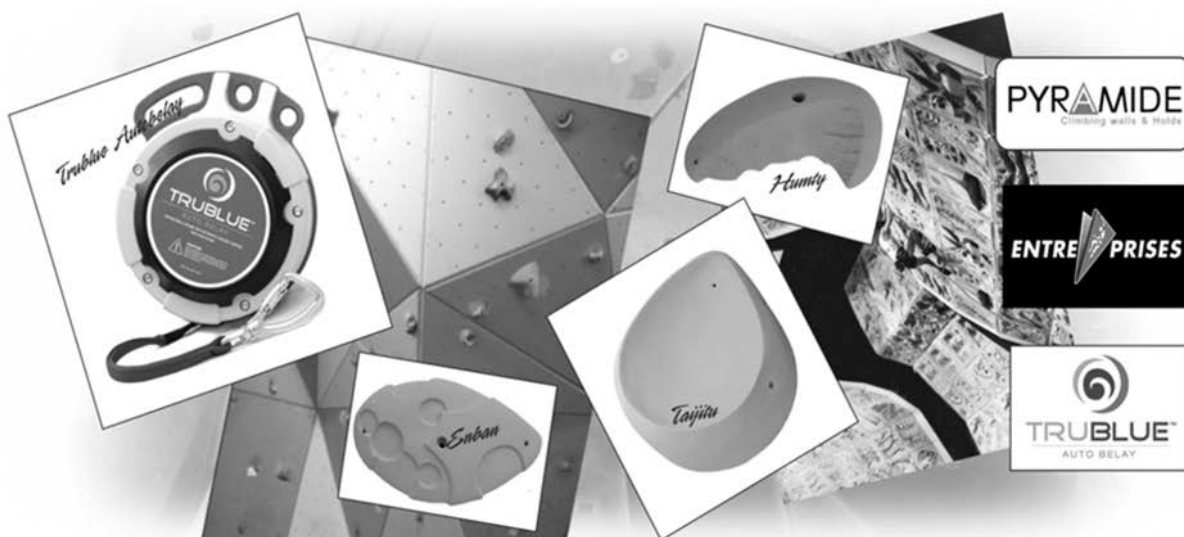
【編集後書】

年頭の1/19・国内初の遭難救助有料化へりが、小鹿野二子山での滑落遭難事故に初出動。1/22・秩父地域を除く県南・北部に大雪警報。1/23・群馬・長野県境草津・本白根山の噴火により多数の死傷者の発生など近辺で連日慌ただしい動き。

岳連内では3月のリード日本選手権、4月評議員総会(役員改選)、第4回秩父&奥武蔵トレラン大会、第3回「山の日イベント」大会、9月埼玉岳連主管の平成30年度中高年安全登山指導者講習会等の大型行事・イベントが目白押し。昨年と同様にはいかない難しさはあるが、やり遂げなければならない。

各担当者にとっては極めて重い課題でもある。準備の為に正しい情報が、早めに欲しいと願う。

広報 @m.i



取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートブレキシシステム
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と

ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5

Tel: 042-980-5650 Fax: 042-971-6780

URL: <http://pyramide-japan.com/>

Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

ALP K2®



自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。

医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております